

各 位

上場会社名 石垣食品株式会社
 代表者 代表取締役社長 石垣 裕義
 (コード番号 2901)
 問合せ先責任者 経理部経理課 課長 小西 一幸
 (TEL 03-3263-4444)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|-----------------------------------|-------|------|------|--------|-------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 417 | 2 | 2 | 10 | 3.14 |
| 今回修正予想(B) | 359 | △31 | △33 | △28 | △8.44 |
| 増減額(B-A) | △57 | △33 | △35 | △38 | |
| 増減率(%) | △13.8 | — | — | — | |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期) | 403 | 22 | 19 | 17 | 5.23 |

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|------|------|------|-------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 738 | 9 | 9 | 15 | 4.58 |
| 今回修正予想(B) | 677 | △54 | △52 | △42 | △12.55 |
| 増減額(B-A) | △60 | △63 | △61 | △57 | |
| 増減率(%) | △8.3 | — | — | — | |
| (ご参考)前期実績 (平成25年3月期) | 716 | 22 | 27 | 22 | 6.66 |

平成26年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|-----------------------------------|-------|------|------|--------|-------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 415 | 14 | 14 | 22 | 6.65 |
| 今回修正予想(B) | 356 | △11 | △9 | △4 | △1.35 |
| 増減額(B-A) | △59 | △25 | △23 | △26 | |
| 増減率(%) | △14.3 | — | — | — | |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期) | 401 | 22 | 20 | 18 | 5.41 |

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|------|------|------|-------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 735 | 21 | 21 | 27 | 8.10 |
| 今回修正予想(B) | 670 | △9 | △7 | 2 | 0.76 |
| 増減額(B-A) | △64 | △30 | △28 | △24 | |
| 増減率(%) | △8.7 | — | — | △90.5 | |
| (ご参考)前期実績 (平成25年3月期) | 713 | 21 | 28 | 23 | 6.84 |

(注)上記の予想は、当社が現時点で把握可能な情報から判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって当社の見込みと異なるかもしれないことをご承知おきください。

修正の理由

(1)単独

第2四半期累計期間の業績について、前期において収益及び利益に大きな貢献を果たしたごぼう茶の販売量が、ブームの反動を受け4割減となり、第2四半期会計期間における生産量低下が工場全体の原価を引き上げる要因ともなり、利益を引き下げました。

また、震災の影響等を受けた内食傾向から、景況感の好転を受けて外食への流出があったと見られ、近年、増収を続けていたビーフジャーキーが微減となりました。

麦茶は、比較的好調であった前期並みの水準を維持したものの、ごぼう茶とビーフジャーキーの減収を受けて、大幅な減収、減益となり、当第2四半期累計期間は、損失計上となりました。

なお当期純利益においては、保有有価証券の売却益の計上を見込んでおり、当初第2四半期までに完了の予定がずれ込んでおりますが、3月までの売却を予定しており、単独の当期純利益は黒字を確保する見込みであります。

(2)連結

ビーフジャーキーを生産する中国子会社において、従来から原材料費及び人件費の上昇、純輸入事業であることに伴う円安による採算悪化の影響を受けておりましたが、昨年末からの急激な円安と並行して主原料である牛肉の中国国内での高騰が予想を大幅に上回る水準で進行し、業績を大幅に悪化させることとなりました。

原材料費の高騰については、主要原料である牛肉を、高騰の続く中国産から豪州産への切替えを進めており、またその切替えに合わせて、商品の内容量減少による実質値上げを行うことで利益の確保を見込んでおりました。しかし豪州産牛肉への切替えが、当初予定の初夏から秋へ、また一部OEM製品の切替えに遅れが生じ完全な移行完了は年末までずれ込むこととなったうえ、その間使用していた中国産牛肉の価格が異常な高騰を続けました。それらに加え、円安進行がさらに続いたことがビーフジャーキーの利益率を大幅に悪化させ、中国子会社で大幅な赤字を計上する事となりました。

以上により、上記の通り業績予想の修正を行います。

● 配当予想の修正について

| | 年間配当金 | | | | |
|------------------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 前回予想 (平成25年5月15日発表) | — | 0.00 | — | 1.00 | 1.00 |
| 今回修正予想 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 当期実績 | — | 0.00 | — | | |
| 前期実績 (平成25年3月期) | — | 0.00 | — | 1.30 | 1.30 |

修正の理由

当社は、創業以来一貫して株主への利益還元を重要な課題のひとつと考えて事業の経営にあたっており、連結純利益の額に応じた一定水準の配当を行っていく方針でございます。

本発表に記載の通り、通期の連結業績予想が赤字を計上する見込みとなったことから、配当方針に従って、遺憾ながら無配に修正することといたしました。

以 上